



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月4日

上場会社名 レシップホールディングス株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7213 URL <http://www.lecip.co.jp/hd/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 眞
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 品川 典弘 TEL 058-323-7647
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切り捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	8,718	△2.8	△450	—	△426	—	△376	—
25年3月期第3四半期	8,970	13.3	0	—	7	—	△73	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 △327百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △95百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△69.16	—
25年3月期第3四半期	△11.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	11,905	4,366	36.7	800.40
25年3月期	9,791	4,755	48.6	877.37

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 4,366百万円 25年3月期 4,755百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,100	12.0	380	△20.3	400	△24.0	230	△21.2	42.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	6,399,100株	25年3月期	6,399,100株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	943,910株	25年3月期	978,970株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	5,438,629株	25年3月期3Q	6,390,120株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、現政権主導の経済政策（アベノミクス）への期待を背景に円安・株高が進行し、個人消費が着実に回復に向かっていることや、企業の設備投資に関しても裾野への広がりを見せていることから、国内景気は本格的な回復が進んでおります。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、中期経営計画「+1=2015」（プラスワン2015）（2013年度～2015年度）の共通課題である「TMS事業をAFC事業と並ぶ二つ目の柱にする」「次世代機器・システムの商品企画と拡販」「海外パートナーシップの強化と戦略商品の創造」「国内外でのLED商品の拡販」「システム改善によるQCDの向上」に向けた取り組みに注力してまいりました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、主力の輸送機器事業は増収となりましたものの、S&D事業がLED電源の販売方針の変更により大幅に減収となったことから、売上高は87億18百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

また損益面につきましては、当期は現中期経営計画の初年度という位置付けにあり、主に新製品開発や海外事業の強化に向けた先行投資が増加しておりますことから、営業損失は4億50百万円（前年同期は626千円の営業利益）、経常損失は4億26百万円（前年同期は7百万円の経常利益）、四半期純損失は3億76百万円（前年同期は73百万円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

(輸送機器事業)

当事業の売上高は、52億17百万円（前年同期比1.0%増）、営業損失は4億47百万円（前年同期は21百万円の営業損失）となりました。市場別の売上高はバス市場向け製品が37億48百万円（前年同期比0.5%増）、鉄道市場向け製品が7億63百万円（前年同期比11.4%減）、自動車市場向け製品が7億4百万円（前年同期比23.5%増）となりました。

バス市場向け製品につきましては、国内市場においては車載用液晶表示器OBCの拡販が進んだこと、また海外市場においてはシンガポールでのTMS（Transit Management System：運行管理システム）案件の納入がスタートしたことにより増収となりました。鉄道市場向け製品につきましては、LED灯具は堅調に推移いたしましたものの蛍光灯灯具の減少により減収となりました。自動車市場向け製品につきましては、北米向けLED灯具の納入により増収となりました。

損益面では、国内外の新規案件に関わる先行費用が嵩んだことや、海外案件対応への体制強化により販売費及び一般管理費が増加したことから、減益となりました。

(S&D事業)

当事業の売上高は6億81百万円（前年同期比30.0%減）、営業損失は18百万円（前年同期は37百万円の営業損失）となりました。

売上面では、前期まで売上を伸ばしておりましたLED電源が、販売方針の変更によりターゲット市場を一般照明市場から当社の強みが活かせる特殊市場へシフトしたため減収となりました。

一方、損益面は、LED電源の方針変更も奏功し、赤字幅を縮小いたしました。

(産業機器事業)

当事業の売上高は27億86百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益は55百万円（前年同期比41.5%減）となりました。

売上面では、プリント基板実装事業におきまして産業機械用インバータ基板が中国FA市場の減速により減少いたしましたほか、携帯電話の基地局向け電源が震災復興需要の一巡のため減少いたしましたものの、物販用ICカード読み取り端末やケーブルテレビ用無停電電源装置の増収によりカバーし、ほぼ前年並みとなりました。

損益面では、主に円安によるコスト高の影響を受け減益となりました。

(その他事業)

当事業の売上高は33百万円、営業利益は1百万円となりました。事業の内容は、レシップホールディングス株式会社による不動産賃貸業であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は119億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億14百万円増加いたしました。流動資産は87億50百万円と11億22百万円増加いたしました。主な要因は、商品及び製品が4億58百万円、仕掛品が5億74百万円それぞれ増加したこと等によるものです。固定資産は31億55百万円と9億92百万円増加いたしました。主な要因は、無形固定資産が8億83百万円増加したこと等によるものです。

負債は75億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億3百万円増加いたしました。流動負債は69億30百万円と23億22百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が5億37百万円、短期借入金が16億75百万円それぞれ増加したこと等によるものです。固定負債は6億9百万円と1億81百万円増加いたしました。主な要因は、長期借入金が35百万円増加したこと等によるものです。

純資産は43億66百万円と、前連結会計年度末に比べ3億89百万円減少いたしました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の48.6%から36.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期予想につきましては、平成25年5月10日の決算短信で発表しました業績予想からの変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	704,026	725,332
受取手形及び売掛金	4,760,412	3,953,861
商品及び製品	411,047	869,686
仕掛品	424,525	999,176
原材料及び貯蔵品	610,843	937,518
その他	766,280	1,321,239
貸倒引当金	△48,805	△55,951
流動資産合計	7,628,331	8,750,863
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,050,168	1,004,136
その他(純額)	353,405	455,615
有形固定資産合計	1,403,574	1,459,752
無形固定資産		
のれん	—	801,027
その他	176,966	259,382
無形固定資産合計	176,966	1,060,409
投資その他の資産		
投資有価証券	313,500	373,929
その他	326,146	317,744
貸倒引当金	△57,150	△56,750
投資その他の資産合計	582,496	634,924
固定資産合計	2,163,036	3,155,086
資産合計	9,791,368	11,905,950
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,183,220	2,721,155
短期借入金	750,000	2,425,000
1年内返済予定の長期借入金	226,135	111,111
未払法人税等	86,252	18,124
賞与引当金	316,047	99,497
役員賞与引当金	22,369	—
製品保証引当金	58,714	59,525
その他	965,153	1,496,132
流動負債合計	4,607,892	6,930,547
固定負債		
長期借入金	155,800	191,000
退職給付引当金	17,000	19,740
株式付与引当金	—	17,532
その他	255,204	380,809
固定負債合計	428,004	609,081
負債合計	5,035,896	7,539,628

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,645	735,645
資本剰余金	719,406	735,735
利益剰余金	4,039,465	3,573,891
自己株式	△771,792	△760,742
株主資本合計	4,722,724	4,284,528
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,084	48,459
為替換算調整勘定	△15,336	33,332
その他の包括利益累計額合計	32,747	81,792
純資産合計	4,755,471	4,366,321
負債純資産合計	9,791,368	11,905,950

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	8,970,459	8,718,030
売上原価	7,001,945	6,912,144
売上総利益	1,968,514	1,805,885
販売費及び一般管理費	1,967,887	2,256,861
営業利益又は営業損失(△)	626	△450,975
営業外収益		
受取利息	41	21
受取配当金	4,697	4,204
為替差益	7,501	16,457
作業くず売却益	7,747	5,839
その他	7,143	7,978
営業外収益合計	27,131	34,501
営業外費用		
支払利息	5,308	6,715
債権売却損	825	460
投資損失引当金繰入	8,468	—
災害による損失	4,876	—
その他	550	3,080
営業外費用合計	20,028	10,256
経常利益又は経常損失(△)	7,729	△426,730
特別利益		
固定資産売却益	—	298
投資有価証券売却益	27,737	—
特別利益合計	27,737	298
特別損失		
固定資産売却損	—	159
固定資産廃棄損	1,415	533
投資有価証券評価損	973	—
投資有価証券売却損	—	3,350
特別損失合計	2,388	4,042
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	33,077	△430,474
法人税、住民税及び事業税	13,428	20,437
法人税等調整額	93,641	△74,799
法人税等合計	107,070	△54,362
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△73,992	△376,111
四半期純損失(△)	△73,992	△376,111

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△73,992	△376,111
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,699	375
為替換算調整勘定	△3,928	48,669
その他の包括利益合計	△21,628	49,045
四半期包括利益	△95,620	△327,066
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△95,620	△327,066
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注)	合計 (千円)
	輸送機器事業 (千円)	S & D事業 (千円)	産業機器事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	5,163,079	972,820	2,801,019	8,936,919	33,540	8,970,459
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,163,079	972,820	2,801,019	8,936,919	33,540	8,970,459
セグメント利益又は 損失(△)	△21,436	△37,839	94,695	35,419	3,711	39,131

(注) 「その他」の区分は、不動産賃貸事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	35,419
「その他」の区分の利益	3,711
全社費用(注)	△38,504
四半期連結損益計算書の営業利益	626

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円)	合計 (千円)
	輸送機器事業 (千円)	S & D 事業 (千円)	産業機器事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	5,217,018	681,234	2,786,258	8,684,511	33,519	8,718,030
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,217,018	681,234	2,786,258	8,684,511	33,519	8,718,030
セグメント利益又は損失(△)	△447,225	△18,541	55,355	△410,411	1,722	△408,689

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額(千円)
報告セグメント計	△410,411
「その他」の区分の利益	1,722
全社費用(注)	△42,285
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△450,975

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「輸送機器事業」セグメントにおいて、Arcontia International ABの子会社化に伴い、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において801,027千円あります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。